

令和7年度 教育市民委員会行政視察 事前勉強会資料

①11/12(水)午後 【北海道博物館】

視察項目	博物館運営の質的向上について
視察項目の概要	① 道域内のネットワークの形成(イベントの共同事業や学芸職員の交流) ② 観光資源としてのさらなる活用
視察項目に関する本市の現状・課題	① 熊本県文化課・熊本県博物館ネットワークセンターが主となり、県内施設で合同の会議・研修を実施。 イベントの共同事業などの取組は行っていない。 ② 観光振興への寄与を運営方針に掲げ、熊本城や城彩苑と3館共通券を販売するなど連携を図っているが、十分な誘客に至っていない。
視察のポイント	① 国の文化審議会の「博物館法制度の今後の在り方(答申)」において、地域を超えた広域的な取組事例の一つとして紹介されている。県全体の広域連携強化の参考としたい。 ② 新たな法制度では、博物館の機能強化策として、地域の多様な主体との連携による文化観光やまちづくり、国際交流など協働事業の充実が求められている。日本有数の観光都市北海道において、博物館をどのように観光資源として生かしているのかを学びたい。

【基礎情報】

項目	北海道博物館	熊本博物館
開館	平成 27(2015)年 4 月 1 日 (開拓記念館(昭和 46(1971)年)、北海道立アイヌ 民族文化研究センター(平成 6 年(1994))の 2 つ の道立施設の統合)	昭和 53(1978)年 4 月 1 日 (平成 30(2018)年 12 月 1 日リニューアル)
来館者数	164, 518人(令和 5(2023)年度) (うち特別展示室:60, 582人)	99,824 人(令和 6(2024)年度) (うち特別展観覧者:16,378 人) 〔参考〕 熊本城入園者 1,418,105 人 桜の馬場城彩苑入園者 1,983,931 人
職員数	52 人(2024.3.31 現在) (館長 1、研究職 29、行政職 10、非常勤 12)	21人(2025.4.1 現在) (館長 1、研究職 11、行政職 4、非常勤 5)
備考	一部指定管理者による施設管理あり	プラネタリウム施設あり

※出所:北海道博物館 HP、要覧 2022・2023 年度、熊本博物館 館報 2023 年度、令和 6 年(2024 年)熊本市観光統計